

みずほCustomer Desk Report 2022/04/28 号 (As of 2022/04/27)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	127.66
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	127.26	1.0643	135.57	1.2585	0.7142
SYD-NY High	128.60	1.0655	136.16	1.2602	0.7190
SYD-NY Low	126.97	1.0515	134.79	1.2502	0.7102
NY 5:00 PM	128.43	1.0560	135.62	1.2547	0.7127

NY DOW	33,301.93	61.75	日本2年債	-0.0600	0.00bp
NASDAQ	12,488.93	▲ 1.81	日本10年債	0.2400	▲ 1.00bp
S&P	4,183.96	8.76	米国2年債	2.5890	10.96bp
日経平均	26,386.63	▲ 313.48	米国5年債	2.8231	8.62bp
TOPIX	1,860.76	▲ 17.75	米国10年債	2.8251	9.79bp
シカゴ日経先物	26,400.00	310.00	独10年債	0.8065	0.60bp
ロンドンFT	7,425.61	39.42	英10年債	1.8130	1.55bp
DAX	13,793.94	37.54	豪10年債	3.1020	▲ 1.20bp
ハンセン指数	19,946.36	11.65	USDJPY 1M Vol	11.50	▲ 0.15%
上海総合	2,958.28	71.86	USDJPY 3M Vol	10.55	0.00%
NY金	1,888.70	▲ 15.40	USDJPY 6M Vol	9.90	▲ 0.05%
WTI	102.02	0.32	USDJPY 1M 25RR	-0.48	Yen Call Over
CRB指数	305.71	3.04	EURJPY 3M Vol	11.55	0.24%
ドルインデックス	102.95	0.65	EURJPY 6M Vol	11.13	0.14%

東京	東京時間のドル円は127.26レベルでオープン。大型連休を前にした実需のドル買いもあってか、仲値にかけて127円台後半まで上昇するも、勢い続かず。その後、米金利上昇を背景に128.00までドルが買われ、そのまま127.98レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	本日ロンドン時間ドル円は127.98レベルでオープン。FOMCを来週に控え様子見ムードの中、米長期金利が堅調に推移した事で、ドル円も一時は128.20まで値を上げた。その後、若干値を下げ128.08レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は127円付近でスタート。前日の米株が軟調に推移したことを受けて一時126.97まで下押しする場面もあったが、中国株の反発や日本の大型連休前で本邦実需勢のドル買いが入り128円台を回復。早朝には128.20まで上昇し、128.08レベルでNYオープン。朝方は128円を挟んだ狭いレンジでもみ合い。その後、米長期金利が2.80%付近まで上昇する動きを眺めながら高値の128.60まで上昇。午後は動意が乏しくなり、128円台半ばでレンジトレード。日本時間の28日に日銀金融政策決定会合を控える中、様子見ムードも強まっており、終盤まで方向感無く推移し、結局、128.43レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.06台半ばで推移。アジア時間では小動きだったが、前日からロシア国営ガス会社がポーランドやブルガリアへの天然ガス供給を停止したとの報道が伝わり、ウクライナ情勢を巡り一段と不透明感が高まる中、欧州勢参入後はユーロの売り圧力が強まり、約5年ぶりの水準となる1.0581まで下落し、1.0585レベルでNYオープン。オープン後も海外時間の流れを引き継ぎ下値模索の展開。米金利の上昇も売り圧力として加わり、一時1.0515をつけるが、心理的節目の1.05レベルではサポートとして意識され、その後は買い戻し優勢。午後は1.0572まで上昇するが、その後は伸び悩み、結局、1.0560レベルでクロス。

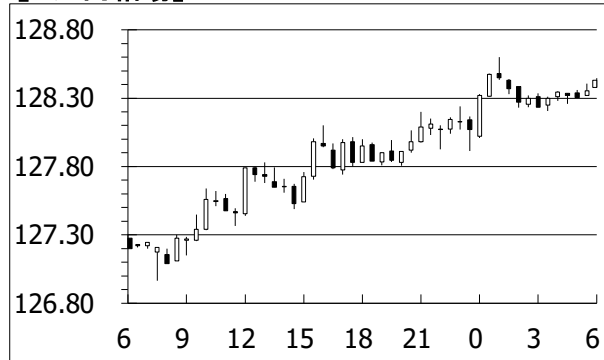
【昨日の指標等】

Date	Time	豪	Event		結果	予想
4月27日	10:30	豪	CPI(前期比)	1Q	2.1%	1.7%
	10:30	豪	CPI(前年比)	1Q	5.1%	4.6%
	21:30	米	卸売在庫(前月比)・速報	3月	2.3%	1.5%
	23:00	米	中古住宅販売仮契約(前月比)	3月	-1.2%	-1.0%

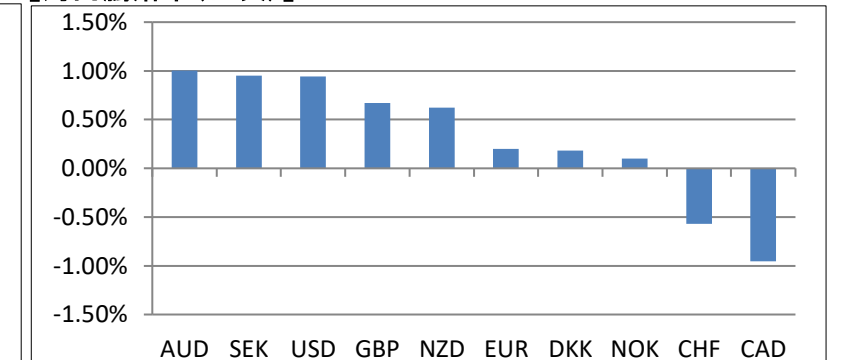
【本日の予定】

Date	Time	独	Event		予想	前回
4月28日	21:00	独	CPI(前月比/前年比)・速報	4月	0.5%/7.2%	2.5%/7.3%
	21:30	米	GDP(年率/前期比)・速報	1Q	1.0%	6.9%
	21:30	米	個人消費・速報	1Q	3.5%	2.5%
	21:30	米	コアPCE(前期比)・速報	1Q	5.5%	5.0%
	21:30	米	新規失業保険申請件数	-	180k	184k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	128.00-129.50	1.0500-1.0700	135.00-136.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は、堅調な推移となった。海外時間に入りポーランドとブルガリア向けロシア産天然ガス供給停止が伝わると、欧州各国へも波及するとの懸念からドルに対してユーロ売りが優勢となり、ユーロ/ドルは一時1.0515と約5年ぶりの安値を付けた。原油価格上昇及び日本の貿易赤字拡大を警戒した円売り・ドル買いにも繋がった。米金利上昇も支えとなり128.60まで上値を伸ばした。

本日のドル円は、堅調な推移を予想する。日銀政策決定会合に注目したい。日銀は緩和維持、次週FOMCでは50bp利上げの公算が大きいことから、日米金融政策の違いが改めて意識され日米金利差拡大によるドル円上昇が見込まれる。連続指値オペを実施していることも踏まえれば政策変更こそ見込まれないが、会合後の黒田日銀総裁の会見や展望レポートで現在の円安加速に対する見解が変わることも想定される。ドル円上昇基調を決定付ける要因となるため、留意したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 西・大谷